



第6章 ライフコースアプローチの健康づくり

－1節 こどもの健康

人生100年時代、生涯を通して健やかに心豊かに過ごすには妊娠中の胎児期から始まり幼少期の生活習慣や健康状態が重要です。妊娠前・妊娠期から心身の健康づくりを行うとともに、こどもの健やかな成長発達とよりよい生活習慣の形成・環境づくりは生涯を通じた健康づくりの基礎となります。

本町では妊産婦からこども・子育て期に係る取り組みについて令和2年3月に「秩父別町子ども子育て支援事業計画（第2期）」を策定しています。また、令和5年3月に国から示された「成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針」に沿って本計画を策定します。

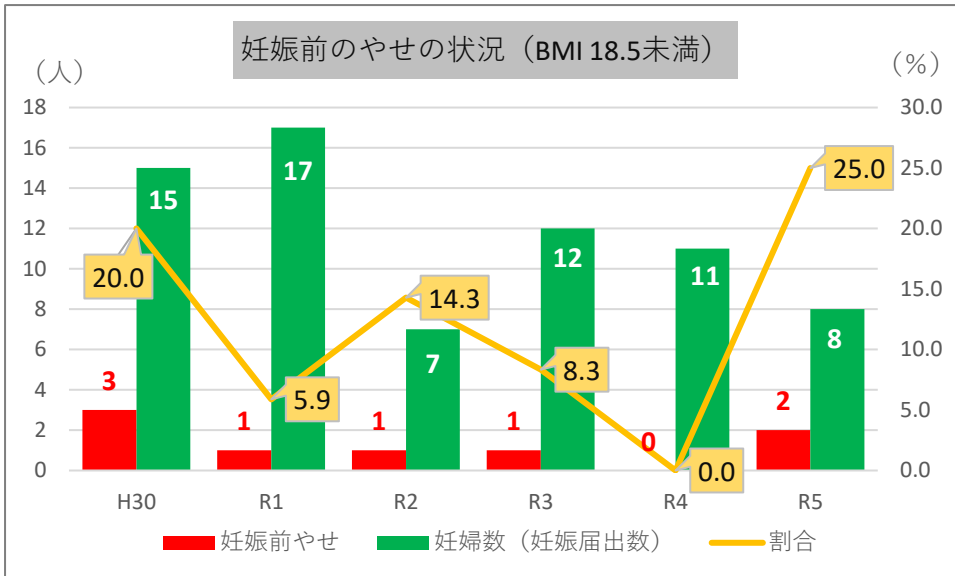
1. 現状と課題

本町は平成30年度から子育て包括支援センターを設置し、妊娠届出時のファーストタッチから妊婦に寄り添った関わりで面談・訪問を妊娠中に数回重ね、出産・産後にはできる限り早期に訪問（町外への訪問もあり）するなどの切れ目ない包括的な支援を行っています。妊娠期から虐待予防の視点を基に個別的な対応で妊産婦支援を手厚く丁寧に関わり、出生後は保護者が育てにくさを感じる前に児の特徴やタイプに合わせた関わりに繋がるような支援に重点を置いています。令和5年度からは子育て支援アプリ「ちっぷμωρó（モロ）」を導入し、タイムリーなプッシュ型の情報発信や医師等による24時間オンライン専門相談を開始しています。また、LINEによる子育て包括支援センターとの相談予約等が気軽にできるようになりました。今後も妊産婦と生まれてくる児、またご家族の健やかな成長発達と健康づくりを推進していきます。

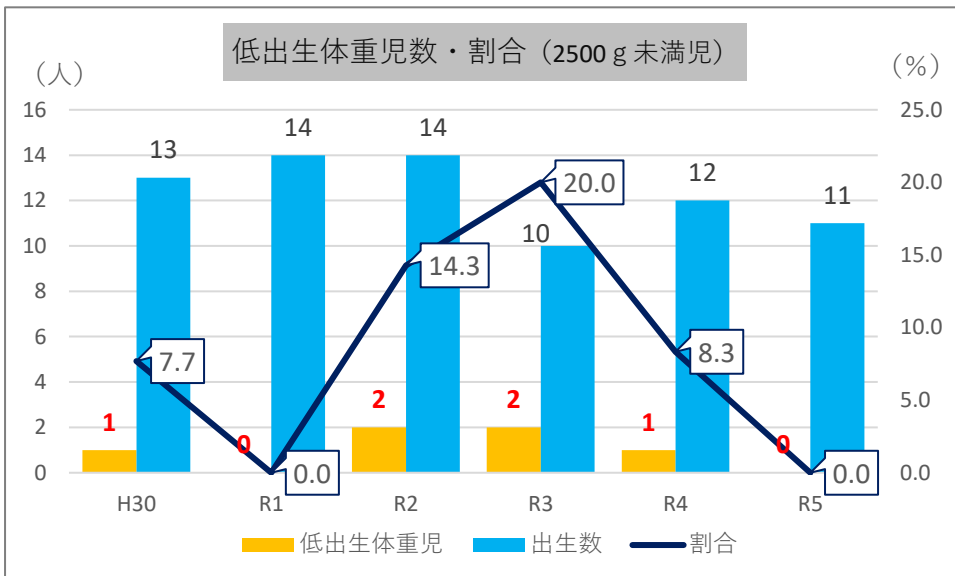
国が示す本計画の指標の現状では、妊娠期をはじめ女性の適正体重の維持は生涯の健康づくりに影響をもたらす重要な指標です。本町の妊娠届出のあった妊婦数は年によって増減がありますが、非妊時体重がBMI18.5以下の「やせ」は1～3名みられます。妊娠前・妊娠中の喫煙・アルコールに関しては第3章3節、メンタルヘルスに関しては第5章1節を参照とします。いずれも妊娠前からの健康づくりの情報提供が必要です。

次に、出生数は年間10数名と少なく、その中で低体重出生児数は年間0～2件です。令和2年生まれの2名は双生児、令和3年生まれの2名は早産で2,000g以下でしたが、1,500g以下の極低出生体重児はいませんでした。いずれも医療機関からの退院は産婦と児との時期が異なっていたため、産婦には早期の産婦訪問、児には医療機関と連携をとって複数回訪問し支援を重ねています。

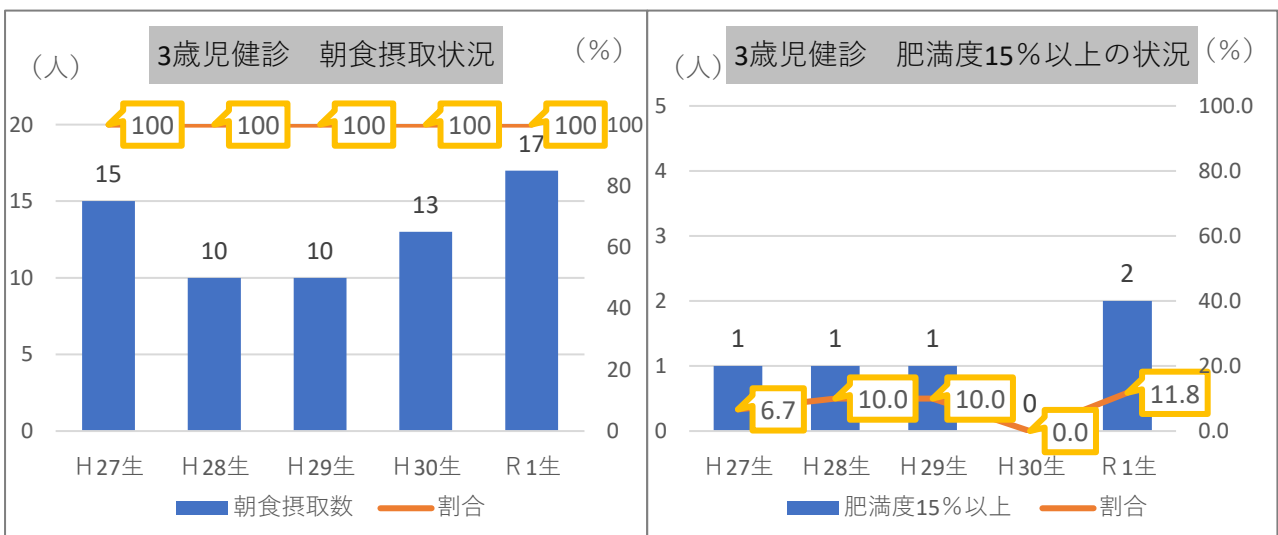
子どもの生活習慣と肥満については、3歳児健診では「朝食摂取」は毎年100%でした。「肥満度15%以上」のお子さんは毎年1名前後いますが多くが15%を若干上回る程度でその後に適正範囲になっています。肥満度30%を超えている場合は栄養相談等の支援を継続し、その後の経過を確認しています。小中学生では、ともに軽度肥満（肥満度20～30%未満）、中等度肥満（肥満度30～50%未満）は若干いるものの多くが「ふつう」です。高度肥満（肥満度50%以上）やネグレクトが心配な「高度やせ」はいません。引き続き児を含めた家族全体の健康づくりを推進します。



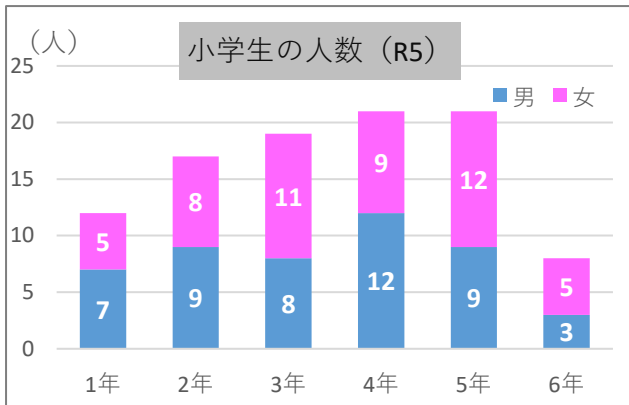
図表 55 健康推進係集計 妊娠届アンケート H30~R5



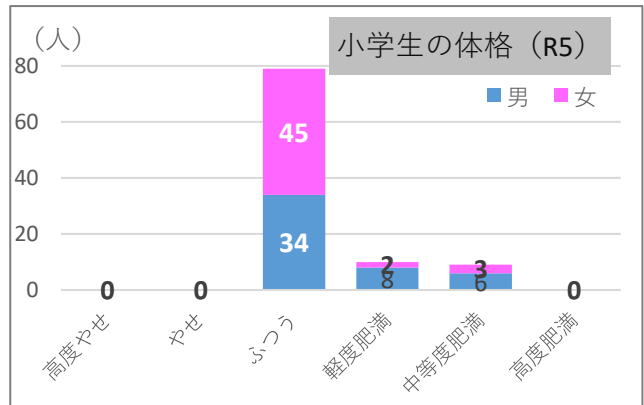
図表 56 健康推進係集計 出生届 H30~R5



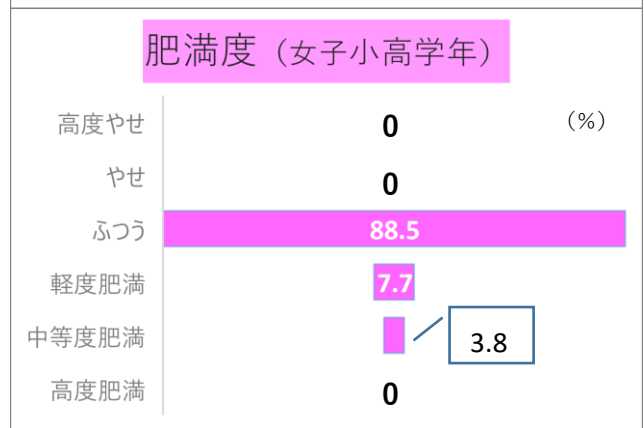
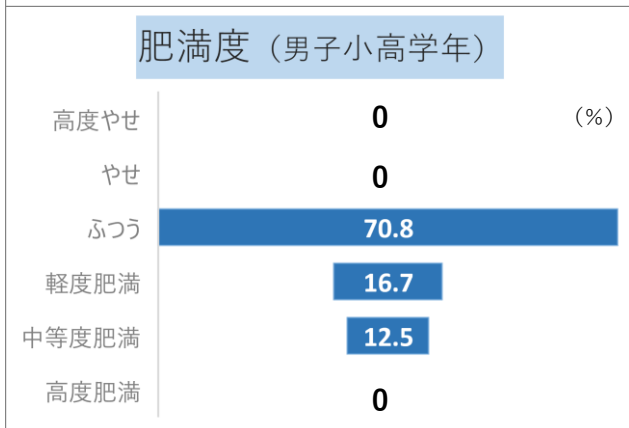
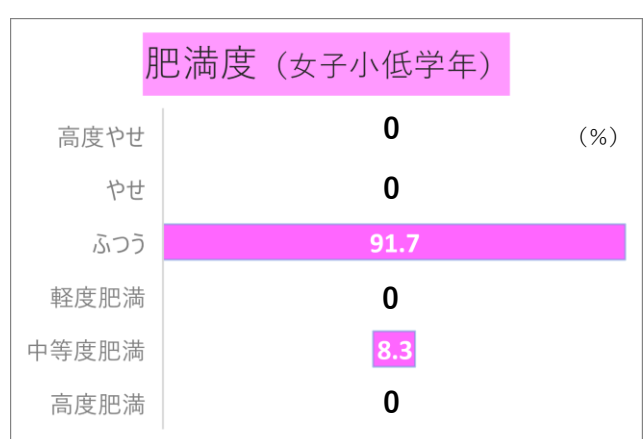
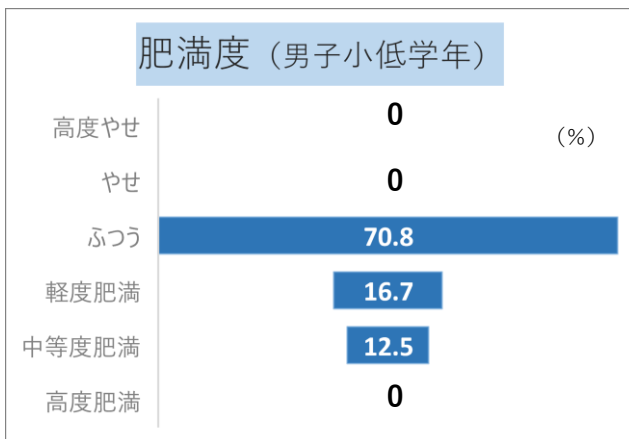
図表 57 健康推進係集計 3歳児健診



図表 58 健康推進係集計 小学校データ提供 R5

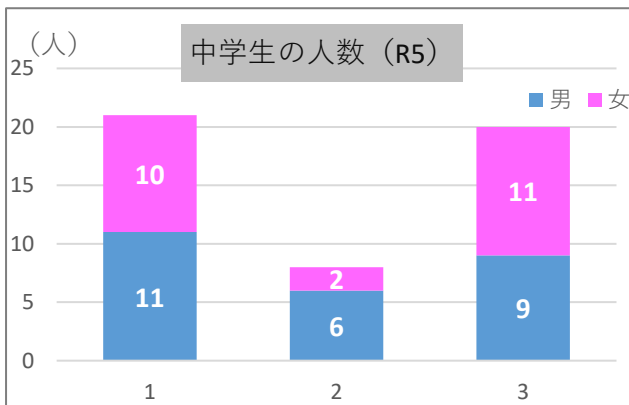


図表 59 健康推進係集計 小学校データ提供 R5

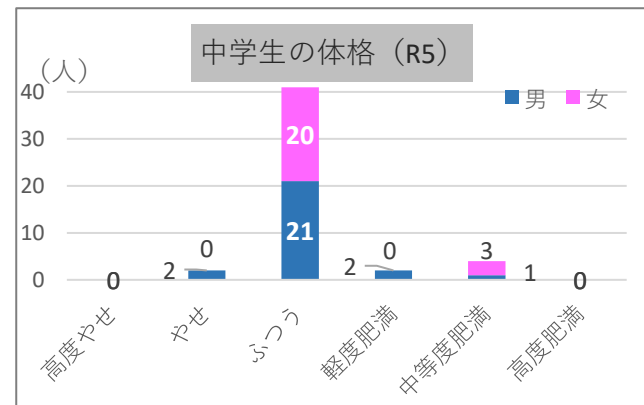


図表 60 健康推進係集計 小学校データ提供 R5

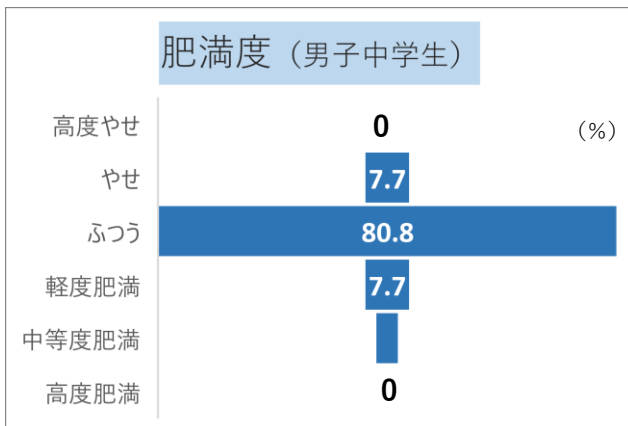
図表 61 健康推進係集計 小学校データ提供 R5



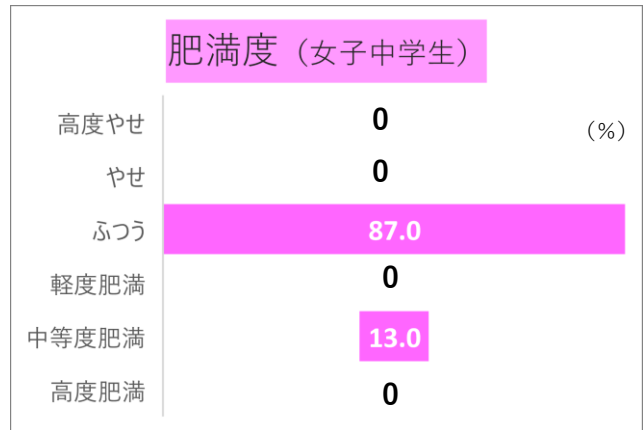
図表 62 健康推進係集計 中学校データ提供 R5



図表 63 健康推進係集計 中学校データ提供 R5



図表 64 健康推進係集計 中学校データ提供 R5



図表 65 健康推進係集計 中学校データ提供 R5

子どもの健康の課題

- ◆ 低出生体重児の支援。
- ◆ 幼児期からこども世代の肥満予防。
- ◆ こどもの健やかな成長発達支援。（発達支援・虐待予防含む）

2. 目標と指標

町民のみなさん

- ◇ 妊産婦健診、乳幼児健診、学校健診等の決められた健診を受けます。
- ◇ 各種予防接種等を利用し、体調の変化があるときは早めに病院を受診します。

町の目標

- ◇ 妊娠・周産期からより良い生活習慣・健康づくりの施策を提供し、健やかな成長発達を支援します。

数値目標			
指標内容	現状値(R5)		目標値
低出生体重児	人数	0名	1名以下
肥満の幼児・児童・生徒	3歳児健診（肥満度 30%以上）	0名	維持 (1名以下)
	小学生（高度肥満）	0名	
	中学生（高度肥満）	0名	

3. 取り組み

町(子育て包括支援センター)の取り組み	関連事業
◇ 安心安全な周産期、こどもの成長発達を確認する機会（各種健診）を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦健診全額助成、交通費助成 ・1か月健診助成、新生児聴覚検査助成 ・乳幼児健診（4,7,10か月児、1歳6か月児、3歳児） ・5歳児健診
◇ 周産期から子育て期まで切れ目ない相談の場を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時相談（栄養相談含む） ・妊娠期相談（妊婦健診申請時の複数回面接） ・妊婦訪問（全妊婦） ・安心出産サポート 119 ・新生児・産婦訪問（全妊婦） ・子育て相談 ・産後ケア事業「にこにこ」助成 ・2歳児訪問 ・早期発達相談 ・発達療育支援（支援プラン作成支援含む） ・転入児子育て相談（訪問） （・こども家庭センター設置）
◇ 妊娠期・子育て期のよりよい情報の提供・集いの場を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援アプリ「ちっぷμωρó（モロ）」 ・まるっとサロン（マタニティ教室） ・はっぴいママ♡ほっと cooking（離乳食教室） ・ママシェフ♡ cooking（幼児食教室） ・ママ♡キッズもニコっと講座（子育て講座）
◇ 感染症や病気の予防に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種健診での医師相談 ・3歳児健診時、視覚屈折検査 ・各種予防接種の全額助成 （定期接種 11 種・任意接種 5 種） ・キッズパブリック オンライン相談
◇ 妊娠前からの健康づくりの情報提供・健診の機会を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期講座（小2, 4, 6年、中3年） ・20歳アニバーサリーお手紙（健康づくり情報提供） ・フレッシュなふたりの健やかライフインフォメーション （新婚夫婦への健康づくり情報提供） ・わかば健診（若年健康診断） ・歯科健診 ・女性のがん検診（乳・子宮）

※本計画では主にこどもの健康づくりに関連する子育て包括支援センターの取り組みを掲載します。

この他にこども園等の児童福祉施策、教育委員会施策、乳幼児医療費施策等、子どもを取り巻く担当部署が町内外の関係機関と連携しながら総合的包括的に取り組んでいます。

また、本町では令和6年4月から子育て包括支援センターと児童福祉の相談支援体制を担う「子ども家庭センター」を設置します。虐待予防と発達支援を含む周産期から子育て期の児童福祉を含む包括的な取り組みについては別途、「秩父別町子ども子育て支援事業計画（第3期）」を令和6年度に作成予定です。

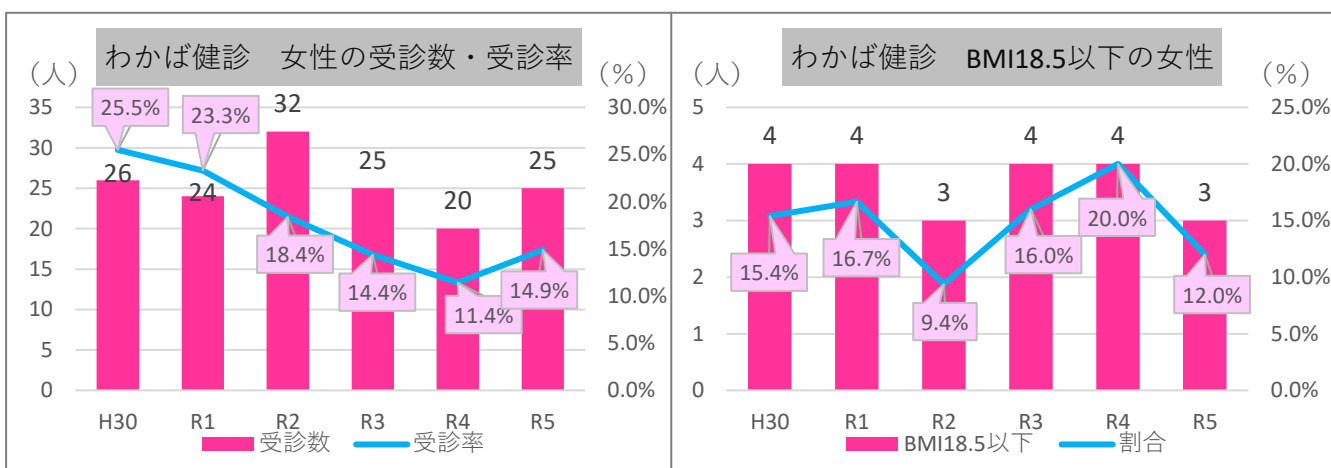
第6章 ライフコースアプローチの健康づくり

－2節 女性の健康

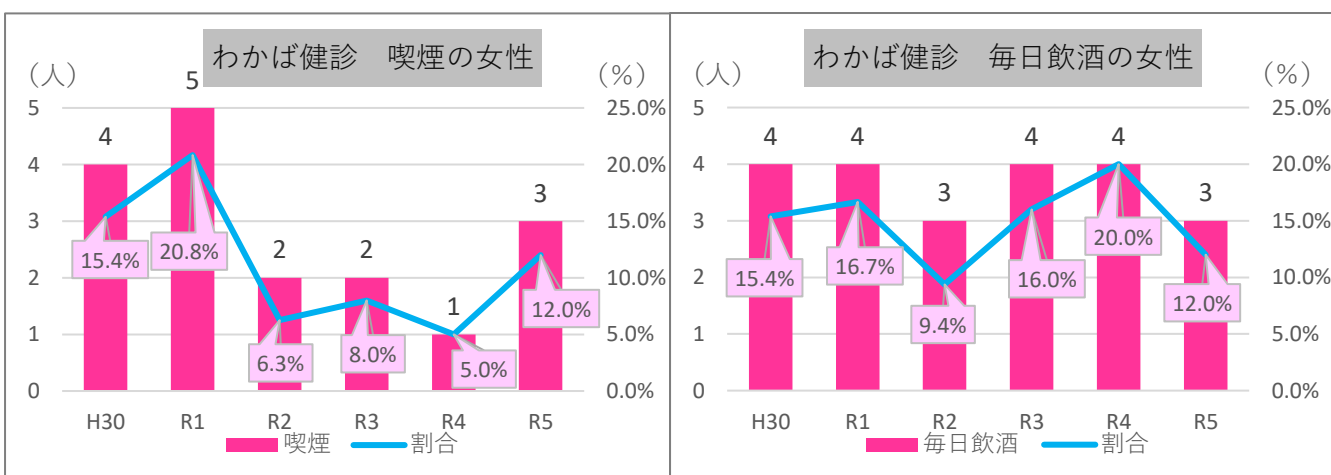
国が推進する令和6年4月からの「健康日本21（第3次）」の基本的な方向のひとつである「ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり」に『女性の健康』が新たに項目立てされました。

4. 現状と課題

本町では平成20年度に特定健診が開始される以前から30代の健康診断を実施し、令和2年度には対象を20代まで拡大しています。若年健診の女性の受診率は30代対象の令和元年までは20%を超えていましたが、令和2年に対象を20代まで拡大後は10%代に低下しています。そのうち、BMI18.5以下の「やせ」は少数ですが受診者の10～20%はいます。わかば健診の質問票より喫煙者、毎日飲酒は一定数います。受診数が少ないために一概に判断できませんが、19頁の図表22、図表23の特定健診受診者と比べると喫煙率、飲酒率ともにやや高いです。



図表 66 健康推進係集計 わかば健診(20～39歳)より H30～R5



図表 67 健康推進係集計 わかば健診 (20～39歳) 質問票より H30～R5

女性の健康の課題

- ◆ 若い世代の女性の適正体重の維持。
- ◆ 女性の喫煙、飲酒習慣の改善。

5. 目標と指標

町民のみなさん

- ◇ 自分の世代に合った方法で定期的に各種健診等を活用し、自分の健康状態を確認します。
- ◇ 世代ごとに変化していく女性の心身の状態を知り、見通しを持ってより良い生活習慣を取り入れていきます。

町の目標

- ◇ 自らの健康を守るために女性が利用しやすい心身の確認をする機会と世代ごとの情報を提供します。

数値目標			
指標内容	現状値(R5)		目標値
わかば健診受診者の「やせ」の減少	女性わかば健診受診率	14.9%	増加 20%以上
	女性 BMI18.5 以下	12.0%	減少 10%以下
若年層の喫煙率・飲酒頻度の低下 (20～39 歳)	女性 20～39 歳喫煙率	12.0%	減少 10%以下
	女性 20～39 歳毎日飲酒率	12.0%	減少 10%以下

6. 取り組み

町の取り組み	関連事業
◇ 女性の健康を確認する機会を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・住民健診 レディースデイの設定 ・住民健診 わかば健診（若年）、特定健診等 ・住民健診 20代からの女性のがん検診 各種がん検診 ・住民健診その他の健診（歯科健診、ピロリ菌等） ・住民健診 骨密度検査 ・人間ドック事業
◇ 誰もが受けやすくなるように町の健康診断・がん検診では費用を助成します。	<ul style="list-style-type: none"> ・住民健診各種がん検診～全額助成 ・人間ドック事業～15,000円助成
◇ 世代ごとに自らライフスタイルにあった健康づくりを選択できるよう情報を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・20歳アニバーサリーお手紙（健康づくり情報提供） ・フレッシュなふたりの健やかライフ インフォメーション（新婚夫婦への健康づくり情報提供） ・子育て支援アプリ「ちっぷμωρó（モロ）」